

障がい者の社会参加・交流促進

スポーツや芸術・文化等を通じて、障がいのある人もない人も共に生活し、活動できる共生社会の実現に努めています。

主な取り組みとしては、

1 交流・ふれあいイベントの開催

○フラインエリアフェスティバル

○障がい者スポーツフェスタ

2 障がい者スポーツの振興

○生涯スポーツの振興

○競技スポーツの振興

○スポーツ振興のための基盤整備

○スポーツ情報の収集・発信

3 障がい者を対象とする文化教室等の開催

4 障がい者芸術・文化活動支援事業

○障がい者芸術・文化オープンカレッジの開催

○障がい者芸術・文化フェスタの開催

5 障がい関係福祉情報等提供事業

○障がい者の芸術・文化情報の発信

○関連情報収集や交流の場の提供

6 障がい者を支援する各種人材の育成

○災害支援ボランティアリーダー養成研修

などがあります。

誰もが安心して利用できる施設

「フラインプラザ大阪」を運営

性別・年代・障がいのあるなしを超えて、スポーツ振興・文化・交流活動を支援するための



上/「フラインプラザ大阪」外観
左上/「フラインプラザ大阪」体育館
下右/同プール 下左/イベント

施設として設立された大阪府立障がい者交流促進センター「フラインプラザ大阪」の管理運営を行っています。

体育館、プール、トレーニング室、大研修室、情報資料室、会議室などを備えた3階建ての建物と、グラウンド、アーチェリー場、駐車場からなる施設で、誰もが安心して利用できる、スポーツ・文化複合施設となっています。

継続的にスポーツや文化活動に参加できる「教室」や、さまざまな競技や文化活動を体験できる「講習会」をはじめ、日頃の練習の成果を発表し、自己の記録に挑戦する「大会・記録会」、障がいのある人もない人も共に交流を図ることのできる「イベント」などを開催しています。また、レクリエーションや体力増進、健康維持、スキルアップなど、様々な目的を持って参加することのできる、年間を通じての各種プログラムを実施しています。

2006(平成18)年60号のいきいきチャレンジのコーナーでは、フラインプラザ大阪で実施されているプールプログラムの中から「アクアビクス」という水中での全身運動を紹介しました。

また、2008(平成20)年69号では、おおさか元気人のコーナーでフラインプラザ大阪のスポーツ指導員であり、パラリンピックに出場した藤田真理子さんの活躍の様子を紹介するなど、フラインプラザ大阪の活動の一端を伝えました。

障がい者の交流活動や文化活動を支援

「ビッグ・アイ」を運営

障がい者の社会参加を促進することを目指して、障がい者自らが行う国際交流活動や芸術・文化活動の場、また、障がい者のみならず、広く国民が参加する交流の場として国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」を運営しています。ビッグ・アイが誕生したのは2001(平成